

# 永福図書館 実習報告



向陽中学校2学年・3名のレポートです。  
7月4日（火）～7月5日（水）の2日間、図書館の仕事を体験しました。

## 実習で 取り組んだ 仕事

- 排架
- 雑誌の装備
- 交換便（他の館から届いた本）の仕分けと中身チェック
- 予約確保作業（予約がついた資料を書架から持ってくる）
- オススメ本の紹介文

私はこの職場体験で図書館での仕事をやってみて楽しいと感じました。特に楽しいと感じたのは在館リストです。在館リストで予約されている本を探しているときは宝探しをしているように思いました。一番大変だったのは排架です。返却済みの本を一度に何冊も持とうとすると、本が落ちるし重いので大変でした。図書館の仕事をやってみて気づいたことは、自分が思ったより立ち仕事が多いことです。図書館といえば座って事務作業みたいなことが多いと思っていたけれど、よく考えれば、事務作業ばかりやっていたら返却された本は誰が書架に戻すのか、予約された本は誰が見つめるのか、ということが疑問になってしまうと気づきました。私は将来、図書館で働くのもいいと思いました。

私はこの職場体験で、在館リストが一番楽しかったです。なぜかという、その本がありそうな棚を探して本を発見するのが宝探しみたくて楽しいと思ったからです。特に雑誌を探すのが難しく面白かったです。雑誌は、発行日や号数がとても小さく書かれているので、どれが目当ての雑誌か分かりづらく難しかったです。今回、職場体験に来て思ったことは他にもあります。最初に司書は力仕事だと聞いた時は半信半疑だったのですが、1日目の中身チェックで筋肉痛になり、納得しました。司書に腰痛やけんしょう炎が多いのも今なら分かる気がします。司書になったら、体力が付きそうだと思います。

図書館で職場体験をして、心に残ったことは、大きく分けて3つあります。

1つ目は書架案内です。いままであまり行く機会がなかった本棚を見ることが出来て新鮮でした。また、普段見ることの出来ない保存庫には機械が使われていて驚きました。

2つ目は仕事で思っていたより体力を使うことです。排架や予約された本を探す時は立っているか歩いていて、ずっとこれをやっている図書館の人はすごいなと感じました。

3つ目は雑誌にブッカーを貼る作業です。空気が入らないようにするのが大変できれいに出来た時はうれしかったです。

仕事をやって、大変ことも多かったけれど、図書館で働く人たちは優しく教えてくれて、いろんな発見もあって、図書館で職場体験が出来て良かったです。